

2023年11月18日

光といのち

第150号

一報恩講一

2024年11月1日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺

〒299-2214

千葉県南房総市二部1344-2

電話 0470-57-2657

FAX 0470-57-2290

Eメール info@syozenji.or.jp

住職 釋孝昌(井上孝昌)

報恩は
知恩に始まる
親鸞忌

池田勇諦先生

報恩講の本堂を荘厳する五色幕



浄土真宗を知る

あるご門徒の言葉に、仰天しました。

「私、『念仏しなさい』と住職に言われ、救われました」と明るい顔でその当時のことを私に話されたのです。

五年以上前になりますが、伴侶を亡くされ途方に暮れていたその方に、確かにそう言ったことがありました。しかし私が感じたことのない念仏に救われた喜びをさりげなく伝えられ、とても驚かされたのでした。そして、それは念仏の力(功德)の証明にもなりました。

親鸞聖人は「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし」と法然上人に念仏を勧められ救われました。今にして思えば、そのことが頭にあり、苦し紛れに念仏を勧めたのでしよう。

親鸞聖人の弟子唯円大徳は『歎異抄』を著し、「本願を信じ念仏もうさば仏になる」と解れば、仏に成る道を誰もが歩めると述べています。

誤解されている方が多いと思っておりますので確認しますと、仏教は、自我(エゴ)を満足さ

せて幸せになる教えではありません。仏に成る教えです。言い方を変えると、人生を成就させる教えです。逆説的ですが、その道を歩む人生こそが「真の幸せ」です。

浄土真宗を知らなかったら、高齢者の私は老病死に向い、暗い心を抱え諦め耐えるしかなかったことでしょう。ところが念仏に遇うと、その人生が輝いてくる。仏教聴聞のおかげです。

南無阿弥陀仏

報恩講

速夜

十一月十五日(金) 十五時~十六時

法話 住職

晨朝

十一月十六日(土) 六時~六時四十分

法話 副住職

日中

十一月十六日(土) 九時三十分~十二時

感話 伊藤照代さん

法話 港区町善持住職

百々海 真師

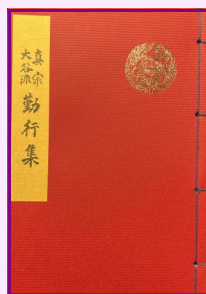
講題 「オギャア」の翻訳

お参りを心よりお待ちしております。

準備の都合がありますので、本堂にお参りされる方はご連絡ください。
世話人所属の方々は世話人に、それ以外の方々は寺にお伝えください。
ズームでお参りされる方は、メールでお申し込みください。

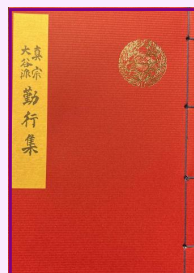
速夜 11月15日(金) 15時~16時 同朋唱和

- | | | |
|---------------------|------------------------|-------------|
| ①正信偈 | 『真宗大谷派勤行集』(赤本) 3~32ページ | |
| ②念仏 | | 同97ページ |
| ③和讃「弥陀成仏のこのかたは」から6首 | | 同 98~100ページ |
| ④回向「願以此功德」 | | 同101ページ |
| ⑤『御俗称御文』拝読 | | 別添 |
| ⑥法話 | | 住職 |



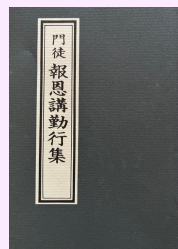
晨朝 11月16日(土) 6時~6時40分 同朋唱和

- | | | |
|----------------------|------------------------|-------------|
| ①正信偈 | 『真宗大谷派勤行集』(赤本) 3~32ページ | |
| ②念仏 | | 同 97ページ |
| ③和讃「専修のひとをほむるには」から6首 | | 同111~113ページ |
| ④回向「願以此功德」 | | 同101ページ |
| ⑤「御正忌」御文拝読 | | 同 62~67ページ |
| ⑥法話 | | 副住職 |



日中 11月16日(土) 9時30分~12時 同朋唱和

- | | | |
|---|--------------------|--------------------------------|
| ①感話 | 伊藤 照代さん | |
| ②正信偈 | 『門徒報恩講勤行集』 1~30ページ | |
| ③念仏・和讃・五遍返し・回向 | | 同 61~78ページ
(赤い節を誦みます。)
よ |
| ※ズームでお参りされる方で、この本の無い方は、
11月8日までにお申し込みください。郵送します。 | | |
| ④法話 | 講題:「オギャア」の翻訳 | 了善寺住職 だどみ しん
百々海 真 師 |



寺に参詣できない方は、下記の報恩講用口座に報恩講志をお振り込みください。

館山信用金庫 店番 005 普通 口座番号 0103547

宗教法人 勝善寺 代表役員 井上孝昌

真宗大谷派 勝 善 寺

住 職	井上 孝昌		
副住職	井上 泰之 (候補衆徒 ※次期住職僧侶)		
坊守	井上 悦子		
衆徒	鈴木正一郎 ※衆徒とは、当寺所属僧侶のこと		
顧問	川名 喜昭		
責任役員	井上 孝昌	井上 泰之	田村 晋一
総代理	田中 昭一	足達 崇	能重 勉
総代理	朝倉 和利	明石 義久	川名 利幸
門徒会員	足達 崇	黒川 敦子	渡邊 秀子
推進員	鈴木正一郎	関口 昌司	田村 晋一
	川名 喜昭	田中 昭一	足達 崇
	黒川 敦子	正木 道雄	渡邊 秀子
門徒(檀家)	305戸		
同朋の会員	寺族・門徒全員		
地区聞法会	八日講十日講(二部中・下の一部)、中佐久間講		

世 話 人 ※太字は新世話人

No.	地 区	氏 名	数
1	久枝	足達 崇	10
2	市部①	増田 一之	7
3	市部②	田中 誠	11
4	竹内	堀海 栄子	4
5	高崎①	前田 正悟	4
6	高崎②	青木 敏夫	5
7	小浦①	明石 圭司	7
8	小浦②	明石 義久	5
9	宮谷合戸	川名 信之	4
10	二部上①	朝倉 和利	8
11	二部上②	三堀 清	10
12	二部上③	朝倉 智	5
13	二部中④	能重 隆	4
14	二部中⑤	田中 昭一	8
15	二部中⑥	狩野 昌也	8
16	二部下⑦	久保田 守	9
17	二部下⑧	能重 勉	7
18	検儀谷	池田 義正	11
19	平群①	高梨 剛	5
20	平群②	池田 千代枝	6

※数は、所属数

No.	地 区	氏 名	数
21	保田	長谷川 吉枝	5
22	大帷子	醍醐 祐子	5
23	※2名づつ	醍醐 敏明	
24	交替で	大胡 実	
25		大胡 英一	
26	市井原	川名 三枝子	5
27	江月	川名 利幸	7
28	大崩	石井 久	6
29	奥山上佐久間	高梨 維夫	4
30	中佐久間①	伊藤 照代	2
31	中佐久間②	重田 和夫	5
32		重田 明美	
33	中佐久間③	田村 徹夫	5
34	中佐久間④	田村 晋一	6
35	下佐久間①	富永 清人	4
36	下佐久間②	金木 美江	2
37		(代)姫松 実	
38	下佐久間③	金木 庸一	4
39		吉田 誠	
40		福原 広美	
41	下佐久間④	中山 郁夫	4
42	下佐久間竜島	正木 道雄	8
43		(代)鈴木正一郎	
44	勝山竜島	鱸居 政男	5

世話人所属門徒合計 215戸
(当寺所属のご門徒以外の方も含む。)

個別に案内する門徒 97戸
寺報「光といのち」 409通発送



当番地区世話人能重勉総代が議長となり報恩講の役割分担などをしました。

住職挨拶

報恩は知恩に始まる

私たち真宗門徒にとって報恩講は、親鸞聖人のご恩に報いる欠かすことのできない法要です。

ところが、その「ご恩」がはっきりしていません。だから、毎年の報恩講にも今ひとつ力が入りません。

親鸞聖人が顕かにされた浄土真宗を真宗大谷派「宗憲」では、「人類平等の救いを全うする普遍の大道」と記しています。つまり、私たち一人ひとり誰もが、人生を成就できる仏道という意味です。

しかし「欲望を満足させる」なら力が出るのですが、「人生を成就できる仏道」と言われても、なんだか力が湧きませんね。

このような私たちですから、今年の報恩講は300余軒のご門徒の皆さんが、あらためて「浄土真宗を知る」法要としたい。

そして真宗門徒であってよかったですと各々頷く。これを目標に掲げます。

当番地区は「二部下・検儀谷・平群」ですが、他地区世話人も役割を担い、率先してお勤めし法話を聴聞してください。

どうぞよろしく願います。

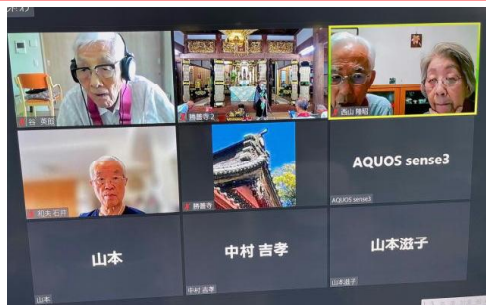
浄土真宗を知る

月曜朝のお勤め 毎週月曜六時から十余名でお勤めし法話を聴聞します。最高齢は、九十歳の田中嘉一さんです。

法要・聞法会は、

ズーム配信をしています。県内外の遠隔地から参加してください。最高齢は九十四歳の谷英郎さん。

参加者各々に魅力を感じ、生きる力が湧いてきます。



勝善寺聞法会

十一月十五日(日) 十二時三十分から

親鸞教室

十一月十七日(火) 十二時三十分から

修正会

一月二日(木) 十時から

仏教相談

日時をあらかじめ連絡しお越してください。手紙・電子メールでの相談もお受けいたします。

社会の価値観・自分の価値観とは違う仏教の価値観から自分を見られます。